

夫婦の関係性を重視した妊娠期保健指導における感想文の分析

Analysis of Impressions by Health Education for Couples in Pregnancy

畑中美穂

Miho HATANAKA

心といのちの性教育研究所

Lab. for Psychological Sex Education, Mind and Life

Key words: 夫婦の関係性, 妊娠期保健指導, 両親学級

目的

妊娠・出産は夫婦関係構築プロセスに大きく影響を及ぼすライフイベントである。妊娠期の夫婦が子の誕生によって変化する関係に順調に適応できることは、良好な関係の下での子育て上のメリットに留まらず、将来に亘る Well-being にも関連し得る。夫との関係性に満足感が低い妻に育児不安等のネガティブな体験がみられる(久世・秦・中塚, 2015)ことから、夫婦関係満足度に関連する“夫婦の親密性”及び“親になる意識”を高めるための妊娠期からの支援が重要である(中島・早川・常盤, 2016)。本研究では、夫婦が内的に成長して関係性を豊かに育んでゆく契機となることを主眼に置いた保健指導の感想文の分析から、必要な支援の視点について検討する。

方法

(1) **研究デザイン**: 自記式調査用紙による KJ 法を参考にした質的研究法

(2) **調査時期と対象者**: X 年 5 月～X+3 年 2 月, A 市在住の妊婦と夫を対象とした両親学級, 計 15 回の参加者

(3) **実施概要と分析方法**: 講話終了後に説明を行い、無記名の調査用紙の任意提出を以て研究への同意とした。参加者 785 名中、自由記述にて感想を記した 348 名分の素データ 381 から、記載に不備のあった 9 データを除外した 372 センテンスを扱い、記述内容を慎重に読み込んで段階的に抽象度を上げていき、要約して分類した。

(4) **講話内容**: 講師は助産師であり、夫婦の関係性を育む意義を重視して以下の 3 点について講じた。

1) 乳児期初期の育児: 生後 2～3 か月頃までの乳児の母親の困りごととして挙げられることの多い授乳, 児の個別性と 24 時間の生活リズムの理解, 情報選択の必要性, 産後うつ病を念頭に置いた母親の休息の重要性について

2) 家族計画: 家族計画の概念と避妊法の指導を行い、産後の男女各々の心理的・身体的状態や性行動の重要性について双方の立場から講じた。

3) 夫婦の心理面についての相互理解の重要性: 産後に起こりやすい気持ちのずれの違いについて事例を元にしたロールプレイング・モデルを提示し、双方に必要な努力や工夫の必要性について講じた。また夫婦・家族としての成長や出産・育児への動機づけを促すため、幼児を育てる親の実体験を元に創作したムービーを鑑賞させた。

結果

内容は、①夫婦の関係に関する内容、②出産・育児への動機づけに関する内容、③産後の生活についての具体的な理解に関する内容、④講演会自体の評価に関する内容の 4 つに分類された。このなかで①は〈夫婦の関係の重要性についての理解〉、〈夫婦で受講することのメリット〉の 2 つのカテゴリーと 8 つの概念が出現した。以下、カテゴリー名〈〉, 概念名〔〕, 素データ「」で記す。

考察

妊娠・出産に関しては妻が主体になりがちであり、目前のこととして具体的な育児方法等の知識面が注目されることは当然であるが、夫婦が揃って受講する希少な機会として両親学級が担う役割を認識した活用が必要である。本研究では、〈夫婦の関係の重要性についての理解〉の素データの出現頻度が 85 と他に比して圧倒的に多く、指導テーマの趣旨が適切に伝わったことが示唆された。例えば産後クライシスを念頭に置いた夫婦の心理面の変化について妻の立場に偏らずに双方の側から講じたこと等は、夫婦のいずれもが「お互いのことを学べてよかった」と感じることに繋がったと推測する。このことは自身が夫婦関係構築の主体であるという認識として、〔夫婦が中心だということがわかった〕, 〔お互いを大切にしたい〕, 〔コミュニケーションの重要性がわかった〕, 〔相手への向き合い方がわかった〕の概念の生成に関係したと考える。また〈夫婦で受講することのメリット〉では、自身が知りたいことよりも「相手に理解してもらいたいこと」を「代弁してもらえた」と、第三者から話されることの利点が記された。特に家族計画については「自分からは話しにくい」が、講話を一緒に聴いたことで「話し合うきっかけにしたい」と記され、デリケートでタブー視されがちな性について専門家として扱うことの意義が見出された。以上、長期的な視野として夫婦の関係性の育みを念頭に、夫婦双方に中立的な立場で指導を行うことが重要である。

参考文献

- 久世恵美子・秦久美子・中塚幹也(2015). 産後 1 カ月の母親の「育児上のネガティブな出来事」の実態と背景因子 ―第 1 報: 「育児上のネガティブな出来事」の体験―. 母性衛生, 56(2), 338-348.
- 中島久美子・早川有子・常盤洋子(2016). 妊娠期および産後における夫婦の関係性 ―夫婦関係満足度, 妻が満足と感じる夫の関わりとの関連―. 母性衛生, 57(1), 82-89.